

〈珍客現る〉

畑に珍客が現れた。アマガエルだ。ヘメロカリスの葉の上に置物のようにチョコンと座っていた。緑の葉の上にカモフラージュしているつもりだろうが、何か“異質感”があって、すぐに見つかった。時々鳴き声を聞くのだが姿を現したのは今年初めてだ。この畑は台地上にあって水場はない。だからカエルはいないと思い込んでいたのだが、毎年このお客さんが現れる。もはや珍客ではなく常連さんといったところか。川や池がなくとも、水たまりでも産卵するということなので、どこ

かに雨水の溜まり場があるのかもしれない。或いは、水やり用に古い浴槽に雨水をためている農家さんがいるが、ひょっとしたらそんな風呂桶で生まれたカエルかもしれない。

「風呂桶生まれのアマガエル、旅に出る」なんて絵本ができれば楽しい。



カメラを近づけてもじっとしているので、好き勝手に撮らせてもらった。正面からパチリ、なかなか凛々しい顔をしている。横からパチリ、“なに見てんだよ！”とチョイと迷惑そうな顔。そして最後はお尻からパチリ。この鮮やかな黄緑色は周りの環境で変わるらしいがまだ見たことはない。個体差も大きいということなのでなかなかお目にかかれないのかもしれない。忍者アマガエル、ぜひ見てみたい！

